

平成17年度当初予算 施策別概要

521 多様な活動主体の参画による 地域社会づくりの推進

52101 多様な活動主体による協働の推進（生活部）
52102 県民の社会参画活動への支援（生活部）

（主担当部局：生活部）

< 施策の目的 >

（対象）地域における多様な活動主体が

（意図）ネットワークを形成し協働しながら、あらゆる分野の社会活動に参画している

< 施策の数値目標 >

目 標 項 目		H15年度	H16年度	H17年度	H18年度
行政(市町村・県)から 市民への移行事業数 (事業)	目 標 値	-	40	50	60
	実績(見込み)値	30	-	-	-

行政（市町村・県）が実施してきた事業のうち、NPOやボランティア団体など市民自らが行うこととなった事業数の累計

< 平成17年度に残っている課題 >

地域の多様な思いの実現や地域課題の解決のため、県民による自主的・自発的な社会活動が一層活発化していくこれからの地域社会においては、これまでのように行政が単独であらゆる公共の分野に介入するのではなく、NPO等と行政が各々の個性や能力に応じて適切に役割を分担していくことが必要となります。

このためには、NPO等と行政の協働がますます重要となり、協働の定着とより質の高い協働を推進するうえで、協働のルールや協働事業の評価など協働の仕組みが一層充実し、十分に浸透していくことが不可欠です。

また、各地域におけるNPO等の自主的・主体的な社会参画活動が一層充実していけるよう、引き続き支援を行うことも重要です。

< 平成17年度の施策の取組方向 >

NPO等と行政との協働のルールや両者による協働事業評価、NPO等からの提案を受けて協働していく仕組みなどの一層の充実・浸透を図るとともに、協働が求められている時代背景等について県の職員が一層理解を深める研修や協働を担う人材育成等に取り組むことにより、協働事業の質を高めていきます。

「みえ市民活動ボランティアセンター」の機能の充実や、市民活動に関する情報誌・ホームページの充実等により県民の主体的な社会参画活動の活発化、多種・多様化を支援・促進します。

<主な事業>

(新)「新しい時代の公」協働推進事業

【基本事業名：52101 多様な活動主体による協働の推進】

当初予算額： - 千円 7,004千円

事業概要：「協働事業評価システム」や「協働のルール」など、協働の仕組みの全庁的な定着・浸透を図り、多様な形態の協働事業の質を高め、効果的に実施できるよう取り組みます。

さらに、2ヶ年の試行で実施してきた「NPO等からの協働事業提案制度」を全庁的に本格運用することを支援し、県の職員が協働事業に柔軟に対応しているよう充実した研修等を推進します。

NPO活動支援推進事業【基本事業名：52102 県民の社会参画活動への支援】

当初予算額： 26,844千円 21,026千円

事業概要：「みえ市民活動ボランティアセンター」の機能の充実、市民活動に関するホームページや各種情報誌等を活用した情報発信、「中間支援組織」との協働によるNPO等の活動支援や交流・ネットワーク化の支援等に取り組みます。